

令和5年度 名古屋市在宅医療・介護連携推進事業／在宅医療体制の整備事業  
事業報告書

名古屋市はち丸在宅支援センター

1. 在宅療養に関する相談支援

在宅療養を支援する相談窓口として、市民を始め、医療・介護の多職種、いきいき支援センターからの在宅療養支援に関する相談に対応した。

<相談実績> 総件数：842件／ケース件数：591件

(相談者)

本人	家族	病院診療所	歯科診療所	薬局	居宅介護事業所	訪問看護ステーション	
116	193	75	0	1	104	9	
施設（老健・有料・サ高住）		その他の介護保険事業所			いきいき支援センター	その他	
3		3			59	25	

(対象者住所)

区内	市内（区外）	市外	不明
420	55	40	76

(調整先)

いきいき支援センター	医療機関	居宅介護支援事業所	訪問看護ステーション		
23	58	8	2		
その他の介護保険事業所	施設（老健・有料・サ高住）		区役所	保健センター	その他
1	2		5	2	8

(主な相談内容)

- ・ 通院困難になった本人より、訪問診療が可能な耳鼻科へ転医したい。
- ・ 癌と診断された本人より、今後の在宅療養についての相談。
- ・ 他県在住の家族より、独居の母の在宅医療と介護サービスの利用について知りたい。
- ・ 病院より、退院予定患者の訪問診療への移行と訪問看護の利用について。
- ・ 在宅医療専門の診療所より、他科（眼科等）の往診可能な医療機関情報について。

2. 地域の医療・介護資源の把握

市内統一の調査方法にて、医療機関及び訪問看護ステーションを対象として、在宅医療への取り組み状況、対応可能な医療、看取りの可否等の調査を行い、調査結果を名古屋市はち丸在宅支援センターのホームページにて公開した。また、介護資源については、既に公開されている情報を相談業務にて活用した。

(名古屋市はち丸在宅支援センターホームページ URL : <https://zaitakukaigo.nagoya/>)

3. 在宅医療・介護連携に関する会議の開催

医療と介護の連携推進を図るため、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者、いきいき支援センター、行政等の関係者を構成員とする会

議を開催し、在宅医療・介護連携及びかかりつけ医による在宅医療の提供について現状把握と課題の抽出・対応策の検討を行った。また、会議の下部組織として委員会・ワーキンググループを開催した。

(開催回数)

区	会議	委員会・WG	区	会議	委員会・WG
千種区	2	9	熱田区	2	12
東区	2	8	中川区	3	22
北区	2	4	港区	2	6
西区	2	—	南区	2	—
中村区	2	29	守山区	2	4
中区	2	4	緑区	2	—
昭和区	2	14	名東区	2	7
瑞穂区	2	10	天白区	2	1

(詳細は別紙 1 参照)

#### 4. 医師・多職種向け研修会

医療と介護の連携推進を図るため、地域の医療・介護関係者に対する研修会を開催した。

##### ・16区対象

<在宅医療研修会> かかりつけ医としての在宅医療

日 時：令和6年3月16日(土) 午後2時 (WEB開催)

<ACP研修会> “本人にとっての最善”を多職種で考える (スキルアップ編)

日 時：令和6年3月9日(土) 午後2時

##### ・各区対象

<東区 東区多職種連携研修会> はち丸ネットワークを使った多職種連携

日 時：令和5年11月16日(木) 午後2時

<南区 ACP研修会> 在宅医と考える ACP

日 時：令和6年3月13日(土) 午後7時半

<緑区 緑区多職種連携研修会> 今日から使える ICF の視点

日 時：令和6年3月16日(土) 午後2時

#### 5. 医療・介護関係者の情報共有の支援

在宅療養者の情報を関係する多職種で共有するための ICT ツール (はち丸ネットワーク) の導入及び利用を促進し、また、必要に応じて、設定支援、操作説明等を行い、医療・介護関係者の情報共有の支援を行った。

・参加施設数 1,705 件 / 利用者人数 3,900 名 (詳細は別紙 2 参照)

#### 6. 在宅療養に関する普及啓発

市民への「在宅療養」及び「ACP」の普及啓発として、「名古屋市 在宅医療・介護のしおり」、普及啓発動画「いつまでも自分らしく生きるために」を活用し、市民が在宅での療養が必要となったときに必要なサービスを適切に選択できるよう、在宅療養に関する知識を普及啓発するとと

もに、相談窓口である名古屋市はち丸在宅支援センターの役割等を周知した。また、名古屋市医師会発行の機関誌「ヘルシーなごや」内に、在宅療養に関するページ「あんきなわがや」を設け、市民に対して在宅療養に関する情報の発信を行った。

・開催回数 27回（詳細は別紙3参照）

## 7. 在宅医療・介護連携機関紙「はち丸っと」の発行

センターにおける取り組み内容等の発信を目的として、多職種向け広報紙「はち丸っと」の発行を行った。

・発行月：Vol.11（夏号）2023年8月／Vol.12（早春号）2024年2月

## 8. 在宅医療バックアップシステムの運用

かかりつけ医による在宅医療の提供を推進するため、各区医師会との連携により「後方支援病院による急変時サポート」及び「在宅医療サポート医による看取りサポート」を柱とする「在宅医療バックアップシステム」を運用し、市内全区にて、かかりつけ医が不在となる夜間・休日等においても切れ目なく在宅医療を提供できるようバックアップを行った。

・急変時サポート 0件／看取りサポート 22件（詳細は別紙4参照）